

問 人口減少に対する施策は

答 雇用創出につながる施策を展開



議員 佐藤 克典 (政和会)

問 昨年、厚生労働省の社会保障・人口問題研究所は2050年の推計人口を公表した。これによると、山田町の人口は2020年の1万4320人から53・2%減少の6703人と推計され、県内33市町村中8番目に高い減少率となっている。また、その後に発表された15歳から64歳までの生産年齢人口は2020年の39%、2807人とのことである。このことを町当局はどのように捉えているのか。また、人口減少を最小限に抑えるために、どのような施策が必要と考えているか伺う。

佐藤町長 人口減少は

全国的な課題である。町としても働き手である生産年齢人口が減少する将来像については、大きな課題と捉えているが、特効薬を見出すことは難しく、各種施策を着実に実行するとともに、より効果的な取組が重要である。

。これまで子育て支援、インフラ施設の整備による生活環境の向上を図るハード対策を進めてきたが、今後さらなる交流人口・関係人口の拡大や産業の振興、雇用の創出につながる施策を展開する。



6年度整備予定の町道八千代・白山線

問 町道改良工事等の完成時期は

答 6年度内の完成を目指す

問 町道八千代・白山線改良工事、福土線及び島田・長内線の道路側溝の改修工事の着手、完成時期について伺う。

については、起点部からみどり公園付近までの側溝改修、島田・長内線については側溝の改修と併せ、舗装改修工事も実施し、いずれも6年度の完成を目指す。

問 国土調査、荒川地区の工程は

答 8年度に認証請求

問 国土調査については荒川地区において曽根、内構、下下野、上下野、船石地区の調査を実施することだが、年度毎のスケジュールについて伺う。

町長 6年度に現地調

査と境界測量の実施、7年度に地籍図と地籍簿の作成及び土地所有者に対する成果の閲覧、8年度に国への認証請求を行い、承認され次第、成果を法務局へ送付する予定である。